

## 平成22年度第8回滝沢村教育委員会議定例会会議録

1 日 時 平成22年11月25日 午前11時10分

2 場 所 滝沢村役場 4階 中会議室

3 出席委員 委員長 内村宣夫

委員 佐藤泰美

委員 飯島仁

委員 菊池直子

教育長 盛川通正

4 説明のために出席した職員

教育部長 遠藤正紀

教育総務課長 熊谷満

学校教育指導担当課長 千田幸範

(以下「指導担当課長」という。)

生涯学習課長 角掛実

文化スポーツ課長 沢口朝彦

給食センター総括主査 黒沼弘

5 議題及び議事の概要

委員長 これより平成22年度第8回滝沢村教育委員会議定例会を開催します。

(開会時刻 午前11時10分)

委員長 本日の出席委員は定足数に達していますので会議は成立します。

委員長 日程第1。会議録署名委員の指名をします。

教育総務課長 今回は佐藤委員にお願いしたいと思います。

委員長 それでは本日の署名委員は佐藤委員にお願い致します。

委員長 日程第2。会期の決定については、本日1日としたいと思います。これにご異議ございませんか。

(全員異議なし。)

委員長 それでは会期は1日と致します。

委員長 日程第3。教育長の事務報告をお願い致します。

教育長 (別紙報告書により概要を報告する。)

それでは3点お話しをします。

11月3日、村の村勢振興功労者表彰がございましたが、その際に特別表彰というのがありまして、その特別表彰に該当したのが中学生と小学生、1人は井上俊樹くんで滝沢南中の2年生、この子供さんは財団法人日本武道館主催の第26回高円宮杯日本武道館書写書道大展示会の硬筆の部において、全国3,814点の応募の中から最高賞の日本武道館大賞を受賞したという内容でございます。2人目は立花恵梨奈さんで滝沢第二小学校の6年生、この子供さんは第26回全国小学生陸上交流大会において女子走り高跳びで1m43cmを記録して優勝しました。この記録は岩手県小学校新記録ということで、2人が特別表彰を受けました。

2つ目は11月12日、岩手県の教育表彰式というのがありました。これは教職員をしている方々が長く勤められると、確か25年以上でしたか、永年勤続表彰されるわけ

ですが、この該当者が今年度483名ということで県民会館で行われたわけですが、本村からは小学校の先生が5名、それから中学校の先生が5名の10名が永年勤続表彰されたということでございます。

それからこれはお知らせになるかと思いますが、11月18日、19日に東北の町村教育長連絡協議会の役員会がありまして、来年度の5月12日、13日、町村会の東北の大会が盛岡である、その大会というのは、総会と研究大会になります。輪番制ということになります、不肖私が東北の会長となったということで、事務局も熊谷課長を中心にちょっと忙しくなってくるということでございます。以上でございます。

委員長 はい、ありがとうございます。なにかご質問ございませんか。

(特になし。)

委員長 それでは、日程第4。議案第1号 教育委員会の事務に係る点検及び評価の報告書に  
関し議決を求めることについてを議題とします。事務局から説明をお願いします。

教育総務課長 今日の会議のご案内と一緒に委員さんのほうには平成21年度教育委員会事務  
点検評価報告書をお送りさせていただいておりますが、これにつきまして、部長以下各  
課長のほうから簡単に概略をご説明させていただいたうえでご審議いただければと思っ  
ておりますのでよろしくお願い致します。

教育部長及び各担当課長 (資料により説明する。)

委員長 膨大な報告書となりますが、主なところを説明していただきました。なにかご質問等  
ありましたらお願い致します。

委 員 質問よろしいでしょうか。13ページの放課後子ども教室というのは何箇所くらいあ  
るのでしょうか。

生涯学習課長 2箇所です。1箇所は篠木の多目的研修センターで体育協会が運営しておりま  
す。もう1箇所は滝沢ふるさと交流館で運営主体は劇団ゆうとなっています。

委 員 今後も放課後子ども教室のニーズは増えていくもののでしょうか。

生涯学習課長 ニーズは高いと思います。ただ問題は運営する人がいないと言ったらいいので  
しょうか、そういう団体と場所が不足していると思っております。北の方に欲しいな  
とは思っています。

委 員 今年度にできるという予定はないわけですね。

生涯学習課長 運営費に関しては補助がいろいろと出ますが、先ほどお話ししたように手を挙  
げてくれる団体がない、そのあたりがネックだと思っております。

委員長 その他ありますか。

委 員 給食費のほうの関係ですが、現年収納分の収納率が若干前年度より下がっているとの  
ことですが、過年度分についてはどうでしょう。それから、収納率を上げるためにどん  
なことをしているかお聞きしたいのですが。

給食センター総括主査 過年度分につきましても、パーセントからすると6~7%位の収納率  
になりまして、そういったものを合算しますと、平成4年度からですけれども合算した  
収納率というかたちで現しますと81.9%となっています。

今の状況でございますが、当然公会計ということで、センターの方で徴収をやってお  
りますけれども、つい最近では未納者への個別訪問を実施している状況ですが、若干シ  
ステムの関係上、「早め対応」ができないというところで、いま一生懸命システムをつ  
くっているところであります。やはり「早め対応」ということが大切な構造をつく

っていかなければいけないということで、例年この時期は歩いてないのですが、こういう状況ですので個別訪問を実施したところでございます。あと各学校の先生方にも、校長先生になりますけども情報提供致しまして、直接徴収というかたちは当然学校はできないわけですが、状況を伝えて、例えば長期休み前などにおける保護者との面談の際にその辺をお願いするとか、最近ではPTAさんのほうでもそういう状況を捉えて、いろいろ啓蒙活動をさせて頂いている状況でございます。いずれにしても来年度は必ずプラスに転じるように頑張っていきたいと思っております。

教育部長 特に学校給食センターにつきましては、食育あるいは地産地消等の事業については順調ですが、学校給食費に関しましては本当に県内でも悪い数字で大きな課題と思っておりました。当面大幅なパーセントの上昇は見込めないわけですが、とにかく対前年でマイナスにならないように、何とか零点何%でもいいからプラスなるように、頑張るよということをやりました。基本的にはこういう経済状況ですので、経済困窮世帯については就学援助費の活用ということで、現在全生徒の1割位が就学援助費の対象となっております。年々数字が上がっておりまして、やはり経済状況が国全体がそうですが厳しいのかなど。もうひとつは生活保護家庭も増えておりまして、これにつきましては生活保護費で支弁されるわけですが、これまで生活保護費で貰いながら給食費を未納にするという家庭もありまして、これについては天引きに振替えるなど手続き関係も整備しています。それから来月の献立表にも各学校のグラフといいますか未納の状況を載せてなんとか啓発をやっていますが、成績の悪い学校長からはどうもあまり好ましくない、そういう風にやらなくてもいいのではないかとの意見もあります。いずれ実態をお知らせして、結局皆さんの税金で補填されるということになりますので、本当に大きな課題だと思っておりました。

委員 子ども手当のほうはそのままですか。

教育部長 市町村としては、子ども手当からも天引きして頂ければ収納率100%になりますので、古い分については残るわけですが、当面、いろんな報道を見てますと実現はなかなか難しい状況にあると思っておりました。各家庭に入って本当に教育費に使われるのか、遊興費に使われるのか分かりませんが、やはりまず給食費に充てて欲しいなというふうには思っています。

委員 振込みにしてるのは全体の何パーセント位ですか。

給食センター総括主査 20年度の後半には、口座振込の推進ということで給食センター職員も各学校に行って周知しました。そうしましたらやはり若干上がっておりまして、正確な数値はあれですけども70%位にはなっております。今年度は学校さんのほうから話を聞きましたら、学校のほうできちんと昨年同様説明をしますということで、給食センターの職員自体は足を運ばなかったのですけれども、その辺の周知についてはお願いした次第で、若干上がりつつあります。できれば新しく入学されている方は100%に近い形で口座振替をお願いしたいなと思っております。

委員 口座を設けてもお金が入ってないと引き落としできないということもありますね。

給食センター総括主査 それもでございます。他市町村の話をお聞きすると、口座振替も上げるためには当然いいのですけれども、いま仰ったとおり口座振替も障害となるという話もあります。今の我々の状況ではまず口座振替のパーセンテージを上げていくのが課題かなと思っております。

委員 この報告書はここで議決すると完結ですか。それとも議会とかにかかるとはですか。

教育総務課長 12月議会で報告となります。

委員 我々からすると11月というのは本当は遅いですよね。これはもうこれ以上早くならないのですか。

教育総務課長 決算の議会が9月にございますので、その中では実績が整理されておりますので、早めればあと1ヶ月は早くできるかなと思います。

委員 普通に考えれば、前年度の反省、評価に基づいて、次の計画をたてるということになるわけですが、22年度は半分以上は過ぎてますから。これは止むを得ないのかもしれませんが。

委員長 膨大な資料なもので、すぐには浮かびませんが他にになにかありますか。

委員 図書の充足率なんですけど、これは新しい図書を追加して入れたということでしょうか。

教育総務課長 そうです。ですから古いもので使えなくなったものを廃棄すると率が落ちてしまうということもございます。ただ買い足していったものだけでいくと100%をすぐ超えてくるのですが、やはり古くて使えなくなったものを廃棄する分ではなかなか伸びないということがございます。

委員 村民体育祭、スポーツフェスティバルの参加者数の数字が出て増えているということは嬉しいことですが、私も毎年参加させていただいているのですが、見ていると午前の開会式のオープニングのイベント、もちろん自分のお子さんが出たりするし、あとマラソンのところまでは人が確かに会場内にいっぱいいるのですが、そのあと午後の部になると全くいない状態で、午後にイベントを持っているところは人数を集客できないということがあるので、このお祭りの持ち方自体、1日はたして必要なのかなというところも体協さんも絡んでくると思うのですが、せっかくやっているのですから、もっといいようにできればいいなと思います。

文化スポーツ課長 体育協会とは、毎月連絡会議ということで情報交換をしておりますので、今年は終わってしまいましたが、そういった会議の中で話しをしていきたいと思えます。

委員長 それではまだまだあるかとは思いますが、以上で質疑を閉めて、議案第1号を原案どおり決定してよろしいでしょうか。

(全員異議なし)

委員長 それでは議案第1号は可決されました。

委員長 以上で教育会議を終了致します。

(閉会時刻 午後0時5分)

6 会議録作成者 教育長 盛川 通正

7 会議録署名委員

教育委員

教育長